

## 令和2年度 流山小学校 学校評価について

### 1 学校評価の実施にあたって

今年度の学校評価を実施するにあたって、昨年度に引き続き保護者、児童、および教職員に対して同じ項目で評価を行うことで、それぞれの立場から見た評価結果を比較分析できるようにしています。また、昨年度と質問項目を同じものにしており、昨年度からの経年変化を見て今後のより良い教育活動実現に向けて考察しました。

### 2 評価の方法

実施時期・・・令和3年1月22日（金）～29日（金）

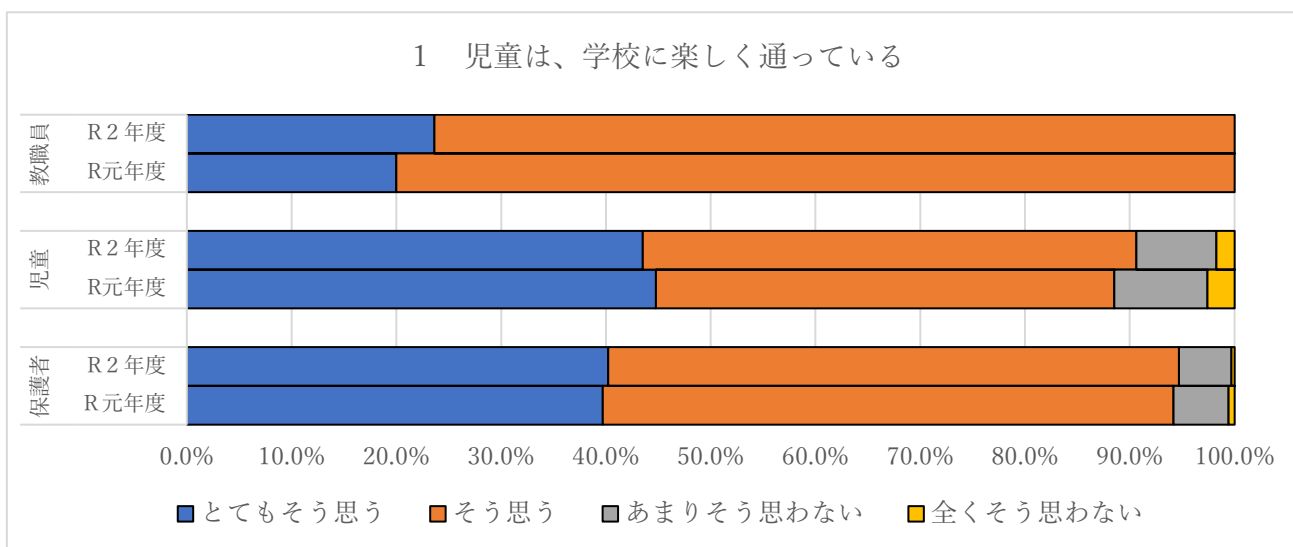
実施方法・・・アンケート方式

### 3 考察

質問項目ごとの考察は以下のとおりです。

**（1）児童は学校に楽しく通っている。**

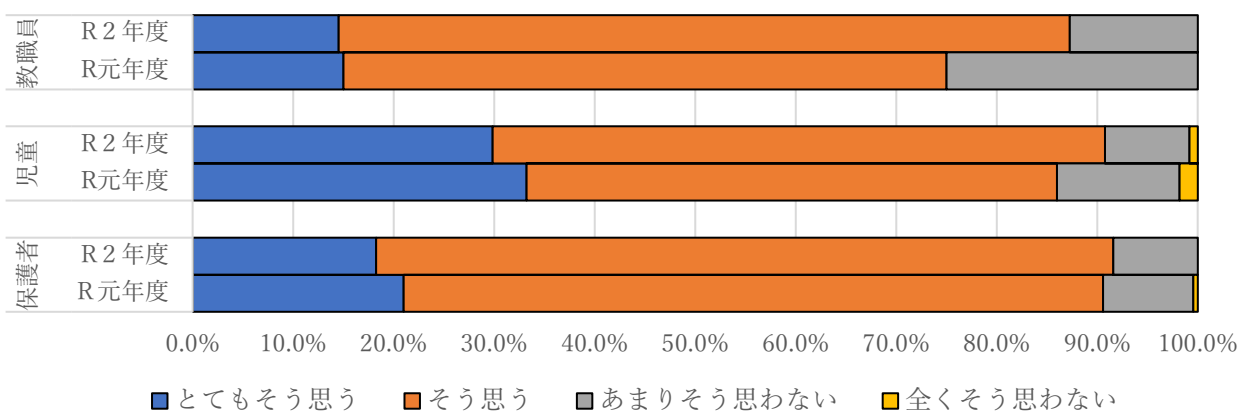
肯定的な回答が保護者、児童、教職員共に90%を超え、ほとんどの児童が楽しく通えていることがわかります。しかし、2.1%の児童がC及びDと回答している現状を見過ごさず、引き続き丁寧に子どもの様子を観察し、コミュニケーションをとることで、不安や悩みの把握と解消に努めて参りたいと思います。



**(2) 児童は、自分から挨拶をして、友達や周りの人に優しい気持ちで接している。**

肯定的な回答が保護者、児童共に90%を超えています。教職員は87.2%で90%には届きませんでしたでしたが、昨年度との比較からは12.3%も上昇しました。コロナ禍でマスクをしながらの挨拶は相手の表情が見えにくくコミュニケーションが取りづらい中でしたが、子ども達が挨拶に力を入れて取り組んでいる結果が表れて嬉しく思います。しかし、登下校の見守り活動をしてくださっている地域や保護者の方から「挨拶をしてもあまり返ってこなくて残念でした」という意見も一部でありました。また、挨拶をしない教職員がいるとのご指摘もいただきました。このようなご意見を真摯に受け止め、まずは教職員や大人が子ども達の手本となるように笑顔で気持ちの良い挨拶を心掛けて参りたいと思います。

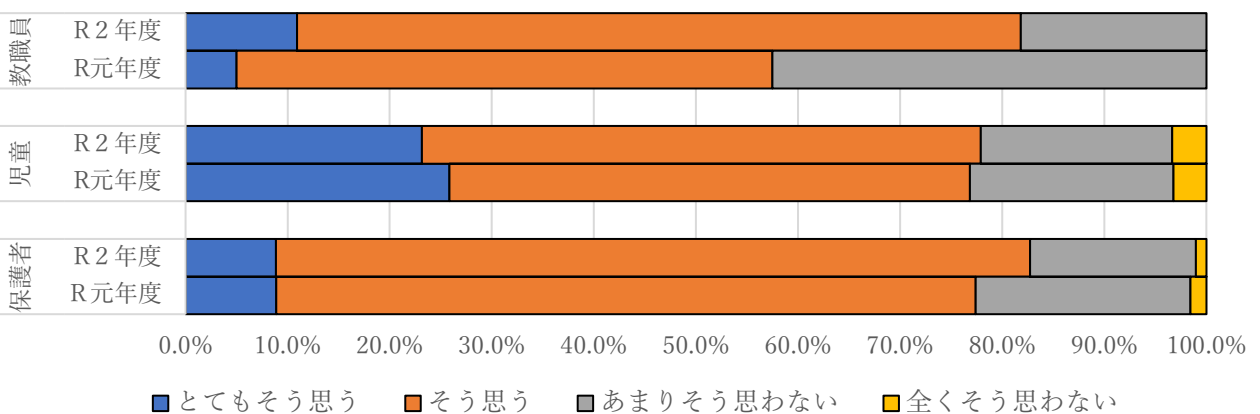
2 児童は自分から挨拶をして、友達や周りの人に優しい気持ちで接している



**(3) 学校は、きれいで整頓されている。**

肯定的な回答は全体的に75~80%程度にとどまり、改善の必要性を感じている人が多くいました。昨年度との比較では保護者が5.3%、教職員が24.3%上昇したものの、まだまだトイレや廊下などの汚れや老朽化を懸念する声が多く寄せられていました。来年度への課題として受け止め、今後の清掃活動の在り方について再度職員で検討し、また地域や保護者の皆様のご協力をいただきながら改善が図れるように対策を講じて参りたいと思います。

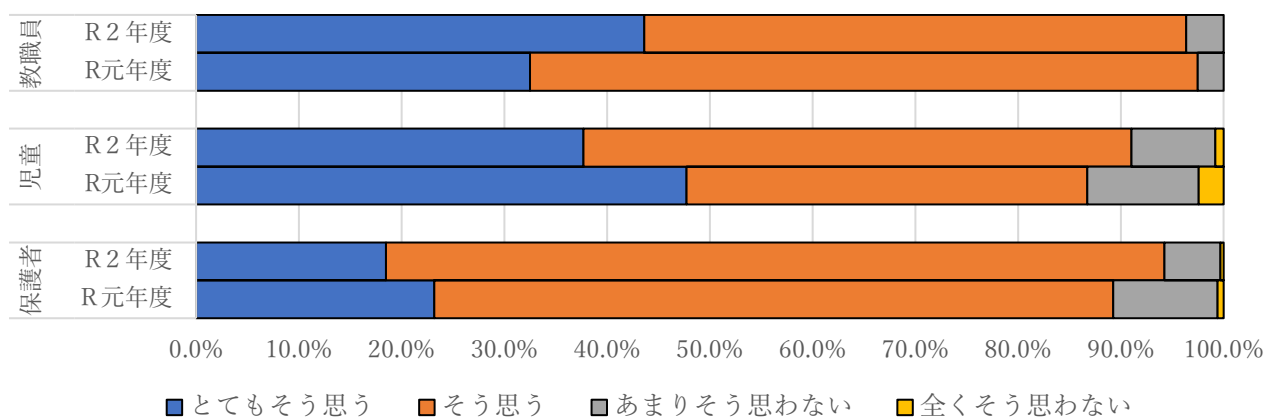
3 学校は、きれいで整頓されている



**(4) 学校は、災害や感染症などの安全対策を積極的に行っている。**

肯定的な回答が全体的に 90～95%と高く、今年度は特にコロナ対策で感染症拡大防止に対する意識が児童、保護者、教職員共に高かったことが表れていると思います。学校の感染症対策について、これまで保護者の皆様にはご理解ご協力いただきましてありがとうございます。自由意見からは、コロナにより人間関係が希薄になっていることに対する不安の声が寄せられました。感染症対策をしっかりと講じた上でも、コミュニケーションがしっかりと取れる工夫を今後も取り入れて参りたいと思います。他にも給食の時間等、マスクを外して行う活動に不安を感じている声も寄せられました。学校では原則マスクの着用を徹底し、忘れた児童は保健室で借りるように指導しています。また、給食の時間は黙食を徹底し、話をする際はマスクを着用させています。夏の体育等の活動では熱中症対策の観点からマスクを外して活動を行いますが、十分な身体的な距離を確保し飛沫による感染を防ぐ対策をしています。今後も安心して子ども達が学校生活を送れるように、また保護者の皆様が安心して学校にお子様をお預けできるように情報発信をして参ります。

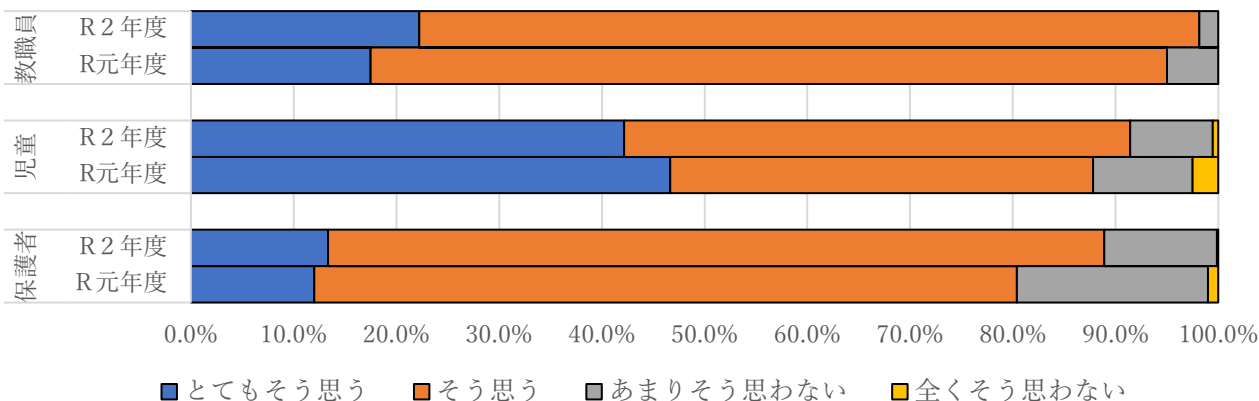
4 学校は、災害や感染症などの安全対策を積極的に行っている



**(5) 学校はわかりやすくて学力を高めるような授業を行っている。**

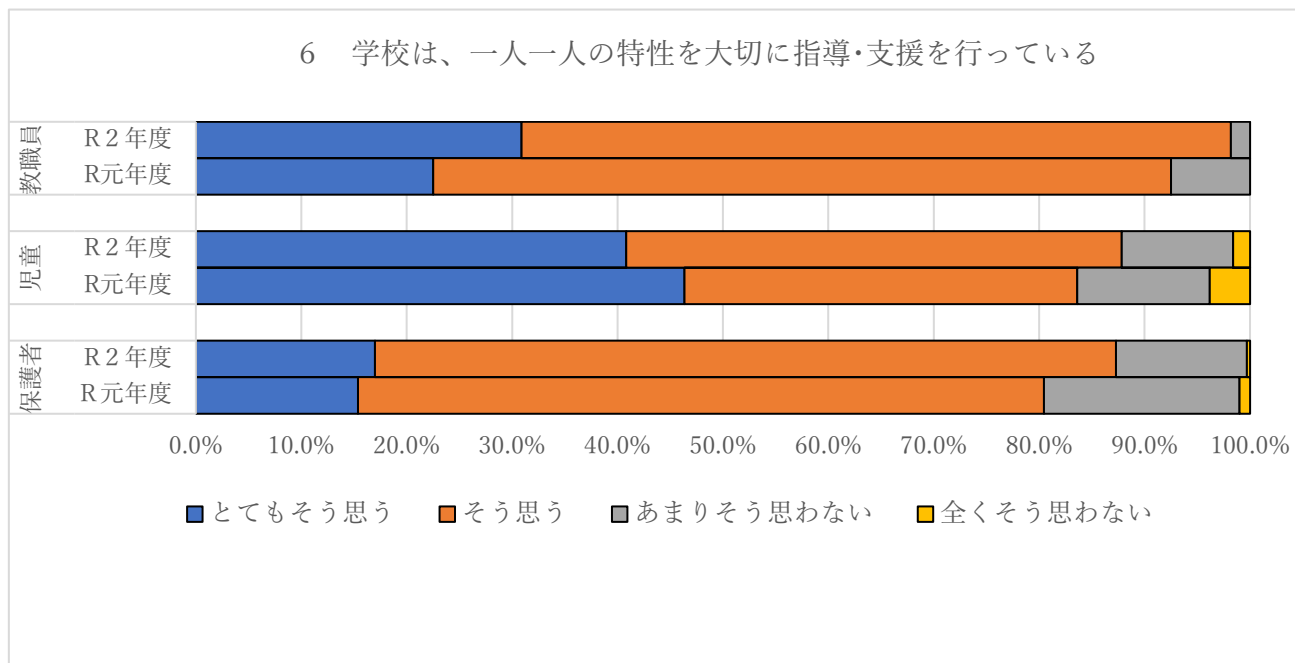
肯定的な回答として、教職員は 97.4%と非常に高い結果に対し、児童は 91.5%、保護者は 88.9%という結果となり、教職員とのギャップを知ることが出来ました。教職員は自己評価に甘んじることなく、改善を要する回答をした児童や保護者の意見にしっかりと耳を傾け、このギャップが縮まるようにわかりやすい授業を目指して日々研修を積んで参りたいと思います。

5 学校は、わかりやすくて学力を高めるような授業を行っている



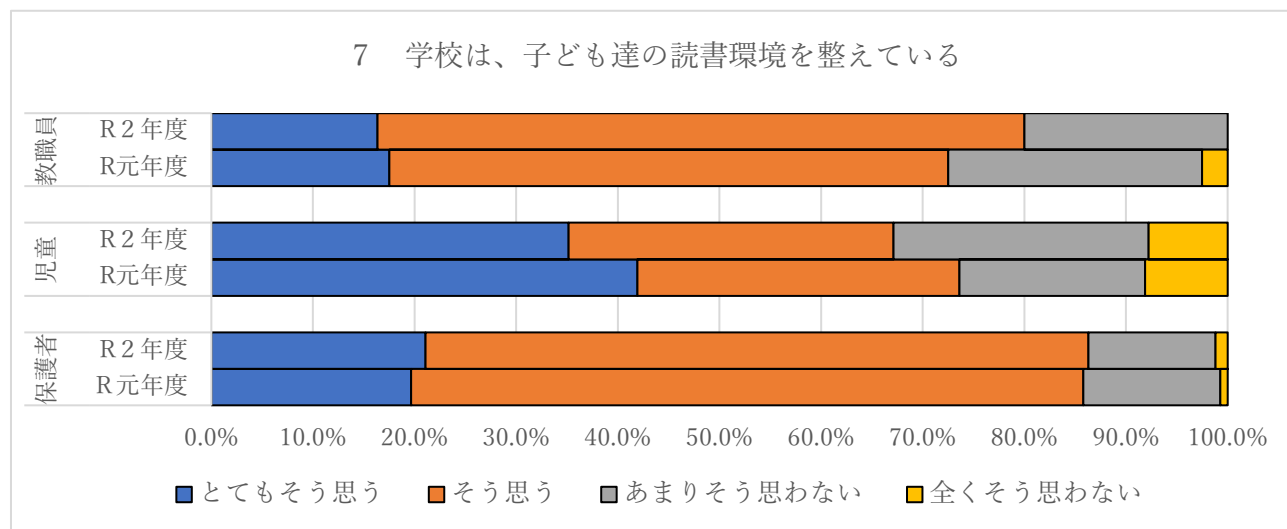
**(6) 学校は、一人一人の特性を大切に指導・支援を行っている。**

昨年度と比較すると肯定的な回答の結果がそれぞれ若干上昇しました。概ねよい評価をいただくことが出来ましたが、多数の児童が在籍しているため、今後も一人一人の特性を見極め、必要に応じて保護者とも連携して対応していく必要を感じています。



**(7) 学校は、子どもたちの読書環境を整えている。**

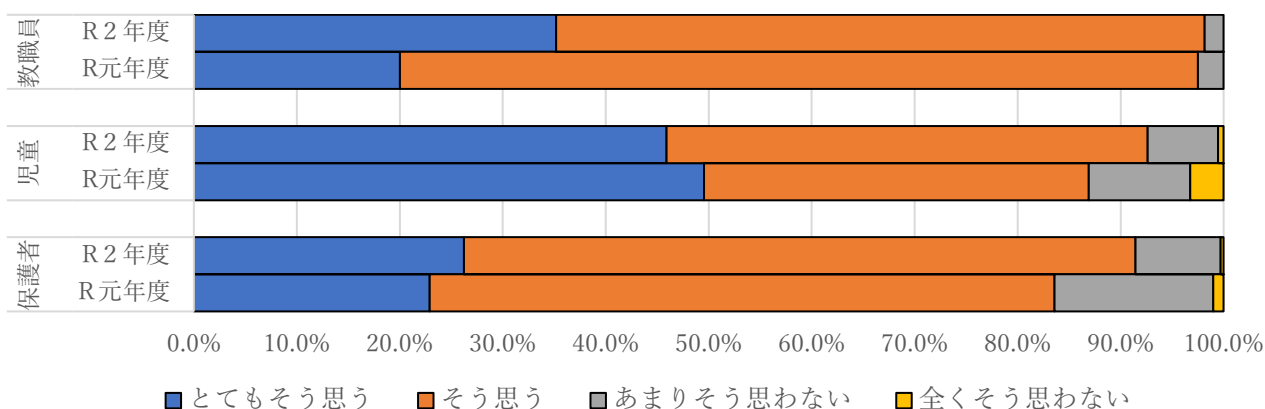
毎年、保護者による「図書ボランティア」や、読み聞かせの「おはなしのもり」の方々の協力により、読書環境が保たれています。しかし今年度はコロナの影響で十分な活動が出来ませんでした。また、来年度に向けて図書室移設工事が入ったこともあり、3学期後半は十分な読書環境は確保できませんでした。昨年度と比較し、児童の肯定的な回答は6.5%下がってしまいました。しかし、今年度、児童が本を借りた冊数は昨年度よりも2倍程度増加しています。今後は新しい図書室を整備し、読書環境を整え、更に児童が本に親しみやすい取り組みをしていきたいと思えます。



**(8) 学校の教職員は、子どもや保護者の話をよく聞いてくれ、相談しやすい。**

肯定的な回答が全体的に 90%を超え、好評価をいただきました。昨年度との比較でも保護者は 7.9%、児童は 5.7%上昇しました。しかし、C、Dと回答した保護者は合わせて 8.5% (58 人)、児童は 7.3% (55 人) もの厳しい評価をいただきました。自由意見からは、「先生から頭ごなしに叱られ、納得いかなかった」との声が寄せられました。我々教員は、理由もなく子供を叱ることはありませんが、子ども達に伝わらなければ意味がありません。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後は事実確認を丁寧に行い、子供の気持ちに寄り添いながら、子どもがなぜ叱られているかが納得できる指導をしていきたいと思ひます。

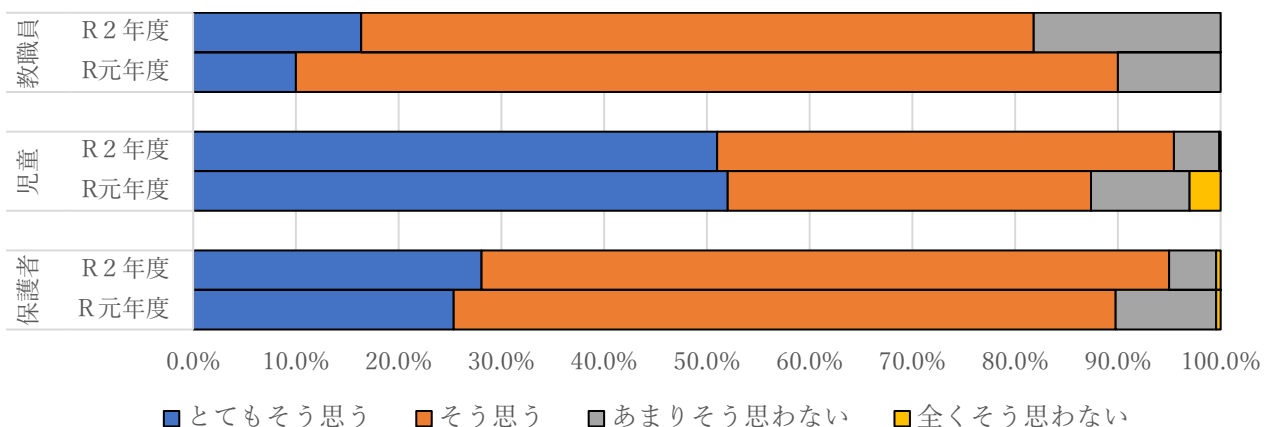
8 学校の教職員は、子どもや保護者の話をよく聞いてくれ、相談しやすい



**(9) 学校の教職員は、見出しなみや言葉遣いが適切である。**

肯定的な回答が保護者、児童共に 95%を超える高評価をいただきました。一方教職員の評価は 81.9%とまだまだ改善の余地があると感じています。保護者の方からは、「言葉遣いが不適切な教員がいる」「年齢に合った接し方をして欲しい」との声が寄せられました。学校では適切な言葉遣いで指導に当たることを全職員共通理解しておりますが、このようなご意見に対して重く受け止め、改善して参ります。

9 学校の教職員は、身だしなみや言葉遣いが適切である



(10) 学校は、授業や行事など学校生活の中で、保護者や地域との関わりを大切にしている。

保護者、児童、教職員共に昨年度との比較で肯定的な回答の数値が下がってしまいました。特に児童は17%も下がってしまいました。

今年度はコロナの影響により地域と関わる活動が制限され、また授業参観も行うことが出来ませんでした。感染症対策を講じながら、試行錯誤をくり返し、やり方を工夫して行事を行って参りました。保護者の皆様からいただいた様々なご意見を参考にさせていただき、今後の改善に向けて検討していきたいと思っております。

10 学校は、授業や行事など学校生活の中で、保護者や地域との関わりを大切にしている。

